

# 経営比較分析表

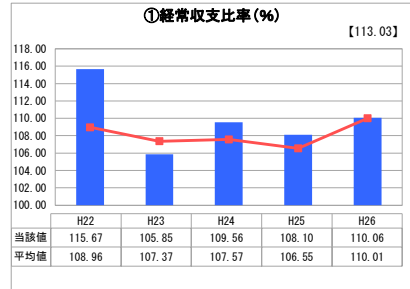
神奈川県 大井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	60.17	99.84	1,652

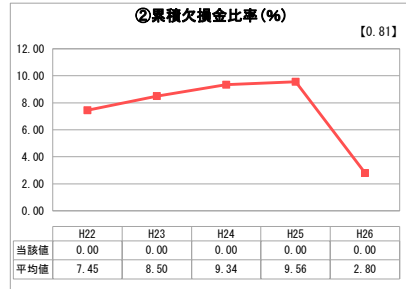
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,388	14.38	1,209.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,286	14.38	1,202.09

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

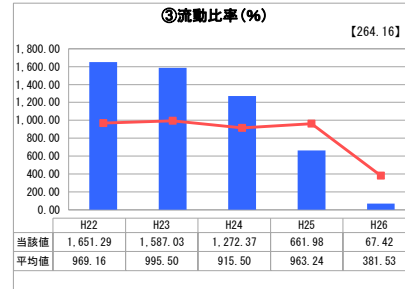
## 1. 経営の健全性・効率性



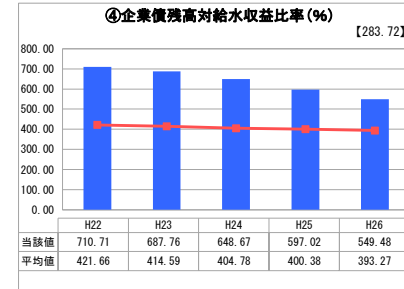
「経常損益」



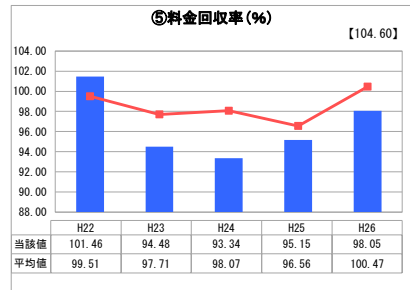
「累積欠損」



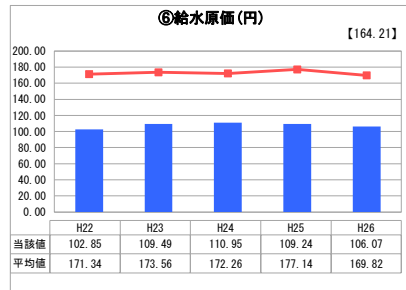
「支払能力」



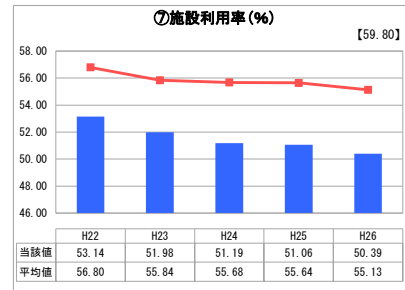
「債務残高」



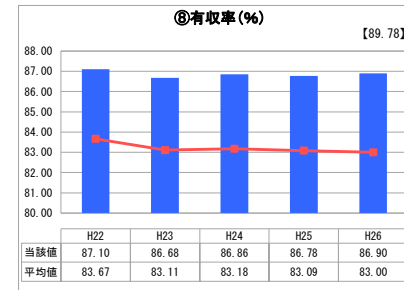
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

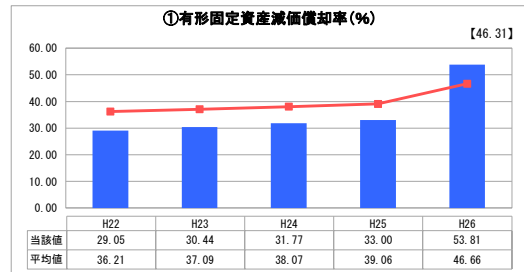


「施設の効率性」

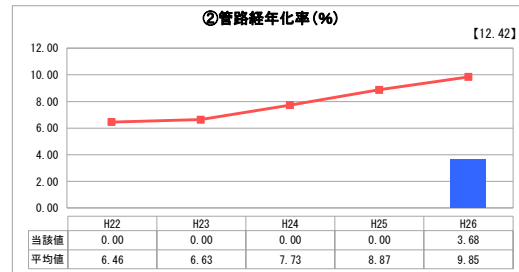


「供給した配水量の効率性」

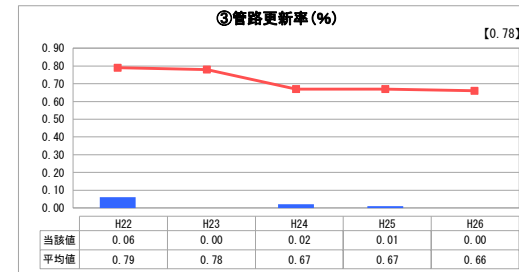
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率100%以上、累積欠損金比率0%であり、単年度では黒字経営ですが、流動比率や料金回収率では、類似団体内よりも低い水準にあります。このことについては、給水収益の減少や施設、管路の維持修繕費の増加等による現金の減少の要因があげられます。当該値の推移から今後更なる厳しい経営状況が予測されますので、今後は料金改定等を踏まえた経営改善の検討が必要です。また、漏水対策事業等の効果により有収率は、類似団体内では高い水準にありますが、施設利用率では年々減少傾向にあることから、今後は配水状況等を踏まえた施設のダウンサイジング等の検討が必要です。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、管路経年率共に類似団体内では高い水準にあるものの増加傾向にあることや、管路更新率が低いことから、施設や管路の老朽化が進んでいます。施設や管路の更新には多くの財源が必要となることから、更新計画を策定し、計画的に投資を行っていく必要があります。

### 全体総括

企業債残高対給水収益比率が高い水準にあることや施設や管路の老朽化が進んでいる一方で、流動比率や料金回収率が低い水準にあることから、更なる経営の改善を図り、計画的な投資を行っていくことが必要です。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。